

世界一

総社南高校ダンス部

ミスダンスドリルチームインターナショナル in USA 2008

ヒップホップ部門

優勝



コレオグラフィ賞

獲得

Victory

3

月28日・29日の両日、アメリカのカリフォルニア州で開かれたミスダンスドリルチームインターナショナル in USA 2008で、総社南高校ダンス部は、57チームが出場したヒップホップ部門で優勝した。さらに、コレオグラフィ賞にも輝き、2つの大きな賞を獲得した。コレオグラフィ賞は、世界大会に参加した400を超える高校生チームのなかで、ダンスの振り付けが最も素晴らしいチームに与えられた賞だ。

日本大会で5位に入賞し、世界大会への切符を獲得。世界大会には、当時の3年生10人と2年生7人の計17人が出場した。「多くの皆さんの応援でアメリカに行け、感謝している。優勝を狙い、集中して練習しただけに素直にうれし」とメンバーは話す。

「自分たちのダンスが認められ、コレオグラフィ賞は本当にうれしかった」。プレッシャーを感じながら、世界大会用の振り付けを中心となって考えたチームリーダーの武田清嗣さん(当時3年生)にとって最高の賞だった。映画「座頭市」の曲にタップや太鼓を取り入れたダンス用のリズムミカルな曲

◀ダイナミックなダンスを披露



▼会場で記念撮影



コレオグラフィ賞、最高!!

にのり、歌舞伎の動きも取り入れたダイナミックなダンスを披露。審査員の高い評価を得た。

「目の前にトロフィーと楯(たて)があっても、信じられなかった」とは、顧問の青山敦子教諭。メンバー全員がそろっての練習も少なく、渡米の準備もたいへんだった。「さすがに予選は緊張していたが、2

回目以降は、楽しんで踊っていた。本番で、うちの持ち味である動きのそろったスピード感ある最高のダンスができた」と話す。

義民祭で使う扇子(日の丸を、近所中から借りて応援した保護者の別府宏美さん(新本)は、「世界大会への出場は、多くの人に支えられ、助けていただき実現した」

と。また、ダンス部保護者会の会長の佐野登さんも「皆さんの支援で強化練習や衣装の充実もできた」と、感謝の気持ちを表す。

優勝メンバーの一人、現3年生の藤岡弘成さんは「まず自分たちの代での全国優勝が目標」と、先輩に負けずがんばると言う。おめでとう。総社南校ダンス部。